

「きのくにプログラミング教育フォーラム」開催要項

1 目 的

インターネットやAI（人工知能）の発達に伴い高度情報化が進展する中、これからの社会を生き抜く子供たちに必要とされるプログラミング的思考の育成及びプログラミング教育の在り方について協議するとともに、実際にプログラミングを体験することを通じて指導方法等の研究に資する。

2 主催・共催

主催：和歌山県、和歌山県教育委員会

共催：国立大学法人 和歌山大学、国立大学法人 和歌山大学教育学部（予定）

3 日 時

平成30年8月20日（月）10：00～15：00

9:30	10:00	10:10	11:10	11:30	13:00	14:00	15:00
受付	開会	講演	行政説明	移動・休憩	プログラミング授業実践講座①	プログラミング授業実践講座②	
				11:30	15:00		
				移動	教育熟議 ～プログラミング教育をいかに進めるか～		

※ 教育熟議は、モデル校等を対象にして実施します。

4 場 所

午前（開会行事・講演・行政説明）：和歌山県民文化会館小ホール

午後（プログラミング授業実践講座・教育熟議）：和歌山大学教育学部附属小学校・附属中学校

5 参加者（予定数 約300人）

- ・県内小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員
- ・県内の市町村教育委員会 ICT教育担当者等

6 内 容

(1) 開会行事

(2) 講演「Society5.0に向けた教育の在り方～社会が変わる、学びが変わる～」(仮題) 文部科学大臣補佐官 鈴木 寛 氏

(3) 行政説明「きのくに ICT教育の取組について」 県教育庁 ICT教育担当主幹

(4) プログラミング授業実践講座

来年度からの全面実施に向け、モデル校（小・中学校）で行っているプログラミングの授業を体験し、指導方法や内容を研究する機会とする。

※ 参加者は、講演からプログラミング授業実践講座②までご参加ください。（授業実践講座への参加は、児童生徒役としてプログラミングを体験いただく1回と、体験している様子を見学し客観的に捉えていただく1回の合わせて2回となります。）参加する実践講座は主催者で割り振ります。なお、高校の教員は、小中学校でこれから行われる授業を知ること、今後の高校での指導の在り方等を考える機会としてください。

(5) プログラミング教育を全県で展開するための教育熟議

対象者：きのくに ICT教育モデル校管理職・教員、きのくに ICT教育ワーキンググループ会議メンバー、市町村教育委員会指導主事、アドバイザー等
ファシリテーター：東京大学 鈴木寛研究室

7 プログラミング授業実践講座申し込み方法

学校名、職名、氏名等を記載の上、電子メールにて申し込むこと。

<申込み先>

電子メールアドレス：e5011002@pref.wakayama.lg.jp

<申込み締め切り及び決定通知>

申込み締め切り：平成30年7月20日（金）

決定通知：平成30年8月10日（金）までに参加の可否、参加実践講座を伝える。

※ 申込み多数の場合は、学校種別、地域等を勘案の上、参加者を決定します。

8 問い合わせ先

和歌山県教育庁学校教育局義務教育課 桑木 TEL. 073-441-3651
県立学校教育課 山本 TEL. 073-441-3686